

第2次江田島市総合計画案・基本計画 記載内容の整理事項

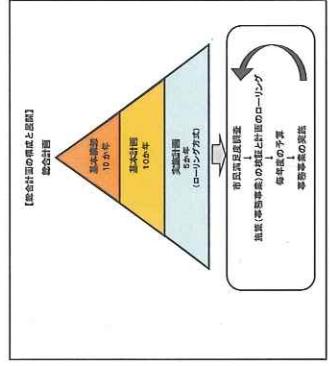
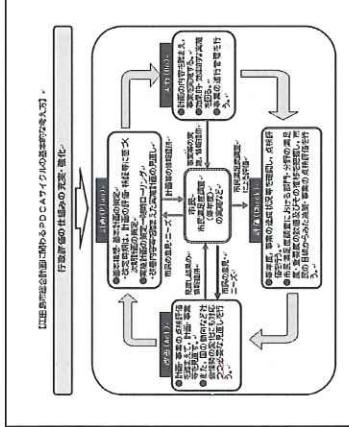
○基本計画・素案から、記述内容の整理（趣旨を変更しない修正）を行ったほか、審議会等の議論を受けて、次のような変更を行った。

指摘事項	変更前	変更後	備考
【生涯学習の充実】 市外の人々を巻き込んだ伝統文化の保護と活用を検討すべき（審議会）	3 伝統文化・文化財の保護 【現状と課題】 (略) 【施策の方向】 伝統文化や文化財の保護などに関わる各団体の会員数が増えないという課題があるので、新会員の加入PRを積極的に進めます。… 【主な取組】 ○優れた文化・伝統文化の保存・継承の推進	3 伝統文化・文化財の保護 【現状と課題】 (略) 【施策の方向】 市外の人々の関与も考慮しつつ、伝統文化や文化財の保護などに関わる団体を活性化します。… 【主な取組】 ○伝統文化・芸能の保存・継承	・市外の人の関与も視野に入れつつ取り組むことを明確にした。
【農林業の振興】 ※観光面 ハイキングの道や山頂が荒れている（審議会）	1 農林業の生産基盤の整備 【現状と課題】 (略) 【施策の方向】 農業環境や農村生活環境の向上と農地の持つ多面的な機能を維持していくため、農業用水路の確保、農道や用水路の整備、農業生産整備の近代化支援、森林の整備などに取り組むとともに、有害鳥獣による農地被害対策、農地の有効活用と荒廃防止等に努めます。 【主な取組】 ○計画的な間伐等による森林の保全と防災対策	1 農林業の生産基盤の整備 【現状と課題】 (略) 【施策の方向】 農業環境や農村生活環境の向上と農地の持つ多面的な機能を維持していくため、農業用水路の確保、農道や用水路の整備、農業生産整備の近代化支援、森林の整備などに取り組むとともに、有害鳥獣による農地被害対策、農地の有効活用と荒廃防止等に努めます。 【主な取組】 (同左)	・取組として盛り込んでいたため、分かりやすくなるよう一部修正した。 (取組内容：農林道の草刈、森づくり事業（山頂の整備、天然林の除間伐・下草刈り）

指摘事項	変更前	変更後	備考
<p>[観光の振興]</p> <p>①観光体験のインストラクター養成（審議会）を追記すべき（審議会）</p> <p>②観光情報はGPSやアプリで取得する時代が来る（審議会）</p>	<p>1 観光資源の発掘・魅力づくり</p> <p>【現状と課題】 (略)</p> <p>【施策の方向】 江田島市ならではの観光資源の発掘・魅力づくりを進めため、自然や食を活用したイベント開催や“おもてなし”的力を高めていくとともに、島特有の立地や自然を生かした体験メニューの開発、PR・情報発信に取り組みます。</p> <p>【主な取組】 ○観光ボランティアの養成 ○観光イベントの支援 ○観光体験メニューの開発推進 ○共同キャンペーンなどの他市との共同による広域誘客の促進 ○主要観光施設への情報インフラ等(②)の整備 ○カヌー・登山・サイクリングなどアウトドアスポーツの振興 ○観光ボランティアの養成(③) </p>	<p>1 観光資源の発掘・魅力づくり</p> <p>【現状と課題】 (略)</p> <p>【施策の方向】 江田島市ならではの観光資源の発掘・魅力づくりを進めため、自然や食を活用したイベント開催や“おもてなし”的力を高めていくとともに、島特有の立地や自然を生かした体験メニューの開発、PR・情報発信に取り組みます。</p> <p>【主な取組】 ○観光イベントの支援 ○指導者の養成も含めた観光体験メニューの開発推進(①) ○共同キャンペーンなどの他市との共同による広域誘客の促進 ○主要観光施設への情報インフラ等(②)の整備 ○カヌー・登山・サイクリングなどアウトドアスポーツの振興 ○観光ボランティアの養成(③) </p>	<p>①インストラクターの養成を図りつつ、観光体験メニューを開発することを明確にした。</p> <p>②GPSやアプリ等を念頭に置きつつ取り組むことを明確にした。</p> <p>③産業化へ移行する前に、まずは観光案内を行うことができる人材を養成する必要があるため、現在の表現のままとした。(ただし、記載位置を下部に変更)</p> <p>(※変更後の文中①②③は、この資料のみにおいて、参考として付記)</p>

指摘事項	変更前 2 宿泊・観光施設の整備 【現状と課題】 …現状ではサイクリング客用の案内板が未整備で、登山客用の表示等は老朽化しており、宿泊関連施設についても老朽化が進み、機器等の改修が必要となっています。 【施策の方向】 …宿泊関連施設については、利用客へのサービスを維持するための修繕等を行なながら、これから施設整備方針を策定し、それに基づいて対応していきます。	変更後 2 宿泊・観光施設の整備 【現状と課題】 (同左) 【施策の方向】 …宿泊関連施設については、老朽化した状況を踏まえ、施設整備方針に基づき、必要な整備を行ないます。	備考 ・宿泊関連施設の整備方針を策定していく中で、必要な機能を検討し、整備していく。 (※修正は文章整理)
「観光の振興」 物産が買える道の駅的な場所が必要ではないか（審議会）	1 保健・医療の充実 【現状と課題】 …糖尿病や高血圧症、がん等の生活習慣病の予防に努め、健康新命の延伸と生活の質の向上を図るため、市民一人ひとりが主体的に取り組むことができる健康づくりを推進します。 【施策の方向】 …生活習慣病予防や健康づくりに重点をおいた食育の推進	1 保健・医療の充実 【現状と課題】 (略) 【施策の方向】 …糖尿病や高血圧症、がん等の生活習慣病の予防に努め、健康新命の延伸と生活の質の向上を図るため、市民一人ひとりが主体的に取り組むことができる健康づくりを推進します。 【施策の方向】 …糖尿病や高血圧症、がん等の生活習慣病の予防に努め、健康新命の延伸と生活の質の向上を図るため、市民一人ひとりが主体的に取り組むことができる健康づくりを推進します。 【主な取組】 ○多言語化など観光案内板の整備 ○サイクルステーションの整備 ○能美海上ロッジ等のあり方検討及び整理に基づく対応	・取組として盛り込んでいるため、これにより推進する。(取組内容：生活習慣病予防や健康づくりに重点をおいた食育の推進)

指摘事項	変更前	変更後	備考
<p>[住宅・住環境の整備]</p> <p>【現状と課題】 …人口減少による空き家の増加や管理不全による廃屋化など、住環境への悪影響が懸念されています。…</p> <p>【施策の方向】 …民間住宅については、危険家屋の除却や木造住宅の耐震診断、耐震改修を促進することで…</p> <p>○危険家屋除却の促進</p> <p>[定住促進策の推進]</p> <p>空き家の対策を図るべき（廃屋対策、活用）（審議会）</p>	<p>1 住宅・住環境の整備</p> <p>【現状と課題】 (同左)</p> <p>【施策の方向】 (同左)</p> <p>【主な取組】 (同左)</p> <p>2 定住促進策の推進</p> <p>【現状と課題】 …移住希望者からの相談件数は毎年増加していますが、伸び悩む空き家バンクの登録件数…など、…ニーズに十分応えきれていません。</p> <p>【施策の方向】 …空き家を活用した住居確保支援などにより…移住の増加に取り組みます。</p> <p>【主な取組】 ○移住者の住居確保支援 ○空き家バンク登録物件の清掃費補助 ○子育て世代の空き家見学ツアーアー</p>	<p>1 住宅・住環境の整備</p> <p>【現状と課題】 (同左)</p> <p>【施策の方向】 (同左)</p> <p>【主な取組】 (同左)</p> <p>2 定住促進策の推進</p> <p>【現状と課題】 …主な定住促進策として、空き家バンク…などに取り組んでいます。</p> <p>【施策の方向】 …各種の定住促進策を充実させ…ます。</p> <p>【主な取組】 ○定住促進のための住居確保支援 ○子育て世代の空き家見学ツアーアー</p>	<p>・取組として盛り込んでいるため、これにより推進する。(取組内容：廃屋対策～危険家屋除去～の促進、空き家の活用～定住促進のための住居確保支援等)</p>

指摘事項	変更前	変更後	備考
P D C Aサイクルの仕組みを盛り込むべき（審議会）	「基本構想 P9」 毎年度、市民満足度調査を実施し、施策（事務事業）の検証と計画のローリングを行い、現実に即した彈力的な対応を図ります。	<p>「基本構想 P9」 毎年度、市民満足度調査を実施し、施策（事務事業）の検証と計画のローリングを行い、現実に即した彈力的な対応を図ります。</p>  <p>The diagram shows a triangle divided into three horizontal sections: orange (基準目標), yellow (基準目標 10か年), and blue (実績目標 (ロードマップ)). A curved arrow labeled '市民満足度調査' (Annual satisfaction survey) points from the bottom right towards the base of the triangle. Another curved arrow labeled '施策(事業)実施の現状と目標との一对比' (Comparison between current implementation status and target) points upwards from the base.</p> <p>【基本構想～全面追記】</p> <p>計画の推進にあたって～計画の進行管理と施策・事業の効果の発揮～ 「10年後の目指す姿」や目標人口、そして数値目標（市民満足度70点、総観光客数100万人）を実現していくためには、実効性のある施策・事業を推進するとともに、その具体化の中で生じた問題点などを把握し、施策・事業を計画した時点で想定した結果が着実に発揮できるよう、必要に応じて見直すなど、適切な進行管理を行つ必要があります。 このため、施策・事業を持続的に改善していく仕組みである『PDCAサイクル』[計画 (Plan) ~ 実施 (Do) ~ 評価 (Check) ~ 改善 (Act)]を取り入れ、計画の進行管理と施策・事業の効果の発揮を図ります。 具体的には、基本計画の実施のために必要な事務事業を明らかにする実施計画については、『PDCAサイクル』を取り入れながら、その内容（施策（事務事業））の検証を行い、計画のローリングを行います。また、こうした点検評価のプロセスにおいては、毎年度、市民満足度調査を実施し、市民目線からの評価を行まえて施策・事業を捉え、点検評価の基礎資料とします。さらに、施策・事業の点検評価による見直しの結果については、市民にわかりやすく、かつ、適切に情報と提供するとともに、市民の意見・意識の把握に努めながら、効率的で効果的な行政運営に取り組みます。</p>  <p>The flowchart details the PDCA cycle for annual satisfaction surveys. It starts with 'PDCAサイクル' (PDCA Cycle) leading to '実施計画の策定' (Formulation of implementation plan). This leads to '実施計画の実施' (Implementation of implementation plan), which then leads to '実施計画の評価' (Evaluation of implementation plan). Finally, it leads to '改善計画の策定' (Formulation of improvement plan), which loops back to '実施計画の策定'.</p>	・PDCAの考え方 方を追記した。(計画書全体としては基本構想 P9に記載)

指摘事項	変更前	変更後	備考
市民満足度の向上と未来を切り開くまちづくりの関係性を明らかにすべき(審議会)	—	(概要版を修正) 「基本構想 P18」 『恵み多き島』の実現には、まちづくりを進めるうえでの基本戦略を明確にしておく必要があります。まちづくりの基本は、一つには、市民ニーズを的確に把握し、現在の課題を解決することによって、地域に暮らす人々の満足度を高めていくことです。つまり、「市民が何を必要としているか」を考え、市民が必要とし、求めている行政サービスを提供していくことです。つまり、「市民が何を必要としているか」を考えて、市民が必要とし、求めている行政サービスを提供していくことです。つまり、「市民満足度の高いまちづくり」を第一の戦略として位置づけます。 一方で、直面する課題に対応するだけでは、本計画においても「市民満足度の高いまちづくり」を開けません。つまり、新しい考え方や方法を取り入れることで現状に変化を加え、未来を切り開いていくための戦略も必要になります。この戦略は、いわゆるイノベーションに当たるものであり、実現には困難が伴いますが、実現できれば大きな成果が期待できます。本計画においても「未来を切り開くまちづくり」として、ターゲットを絞ったうえで、もう一つの戦略として取り入れます。	・概要版を修正 (計画書全体としては基体としてP18に記載) ・本構想 P18に記載

第3節 計画の構成

本計画は、将来の長期的な展望の下に市政のあらゆる分野を対象とした総合的かつ計画的なまちづくりの指針であり、基本構想、基本計画及び実施計画によって構成します。

● 基本構想

江田島市のまちづくりの基本的な理念であり、都市像及び将来の基本目標を示し、基本計画及び実施計画の基礎になります。

● 基本計画

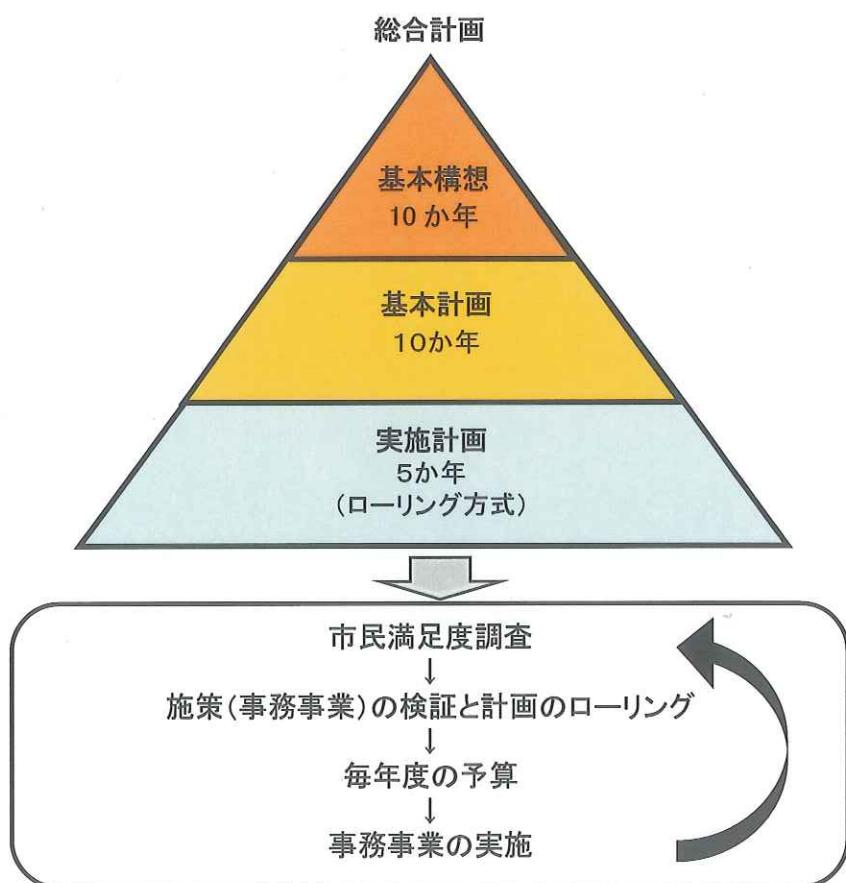
基本構想を達成するために具体的な施策などを体系的に示すものです。

● 実施計画

基本計画の実施のために、必要な事務事業を明らかにする中期計画です。

毎年度、市民満足度調査を実施し、施策（事務事業）の検証と計画のローリングを行い、現実に即した弾力的な対応を図ります。

【総合計画の構成と展開】



※市民満足度調査

主として施策ごとに、現状や施策に対する満足度及び今後の施策に対する重要度について聞く、市民を対象としたアンケート調査。

※ローリング方式

計画を実施しながら、毎年定期的に計画と実績などについて検討を行い、必要に応じて計画を見直す方法。

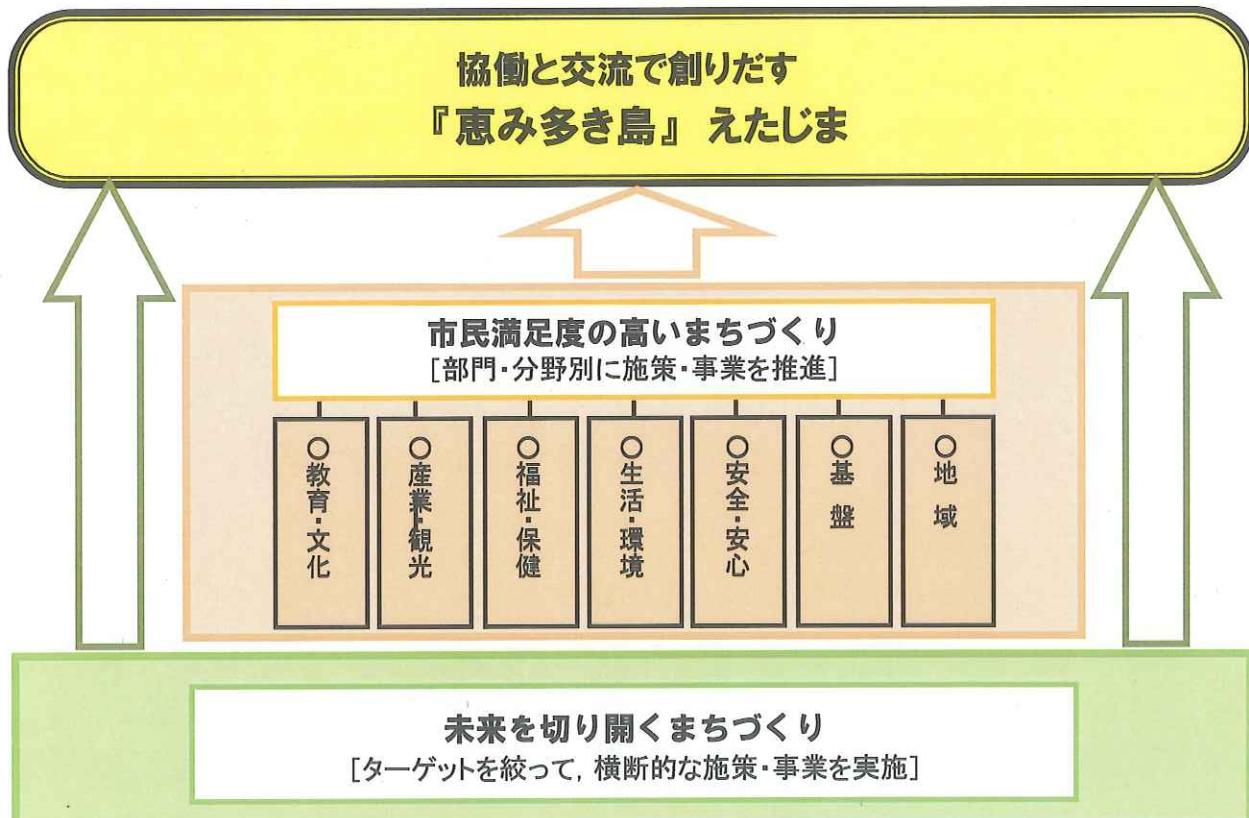
**『恵み多き島』を実現するための2つ戦略
「市民満足度の高いまちづくり」 & 「未来を切り開くまちづくり」**

『恵み多き島』の実現には、まちづくりを進めるうえでの基本戦略を明確にしておく必要があります。

まちづくりの基本は、一つには、市民ニーズを的確に把握し、現在の課題を解決することによって、地域に暮らす人々の満足度を高めていくことです。つまり、「市民が何を必要としているか」を考え、市民が必要とし、求めている行政サービスを提供していくことです。これは、まちづくりを進めるうえでの正攻法と言えるものであり、本計画においても「市民満足度の高いまちづくり」を第一の戦略として位置づけます。

一方で、直面する課題に対応するだけでは、市の将来展望は開けません。将来に向かって、新たな魅力や価値を生み出していくことでしか市の発展は望めません。つまり、新しい考え方や方法を取り入れることで現状に変化を加え、未来を切り開いていくための戦略も必要になります。この戦略は、いわゆるイノベーションに当たるものであり、実現には困難が伴いますが、実現できれば大きな成果が期待できます。本計画においても「未来を切り開くまちづくり」として、ターゲットを絞ったうえで、もう一つの戦略として取り入れます。

■ 2つの基本戦略の展開イメージ



*イノベーション (innovation)

「新機軸」「新しい切り口」新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化を起こす組織・社会の変革。